こんろ火災を防ぐポイント

- ■ 調理中にこんろから離れない。
- ■ こんろの周りに燃えやすいものを置かない。
- ■ 換気扇や魚グリル等は定期的に掃除する。
- ■ こんろの上や奥にあるものを取るときは、火を消す。
- ■ 防炎品のエプロンやアームカバーを使用する。
- ■ 火が鍋底からはみ出さないように調節する。
- ■ 安全機能付きのこんろ※を使用する。

※ 現在製造されている家庭用ガスこんろは全て全口に調理油過熱防止装置、立ち消え安全装置、こんろ・グリル消し忘れ消火機能を有する Siセンサーこんろです。

防炎品ラベルは2種類あります

←防炎物品ラベル
↓防炎製品ラベル

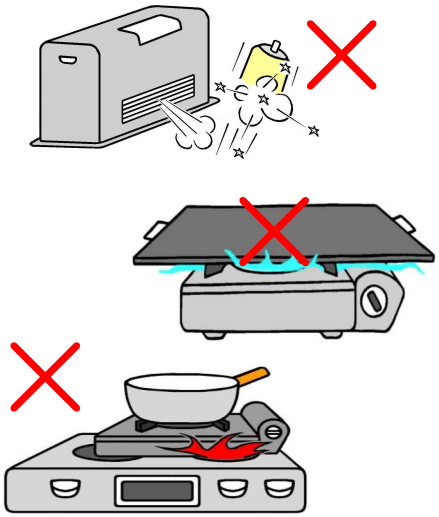
提供：日本防炎協会

※ ラベルには様々な様式があります。

カセットこんろは適切に使いましょう

カセットこんろによる住宅火災では、鍋などからはみ出した炎が着衣に着火したり、不適切な使用でボンベが爆発したりし、死者や負傷者が発生しています。次のことに注意して安全に使用しましょう。

- ■ カセットボンベを暖房器具の前や高温になる場所に置かない。
- ■ カセットこんろ全体をおおうような大きな調理器具は使用しない。
  - ★ ボンベが高温になり爆発の原因に！
- ■ IHクッキングヒーターやガスこんろの上にカセットこんろを置かない。
  - ★ 誤って下のこんろのスイッチを入れて爆発する事故が発生！



問 合 せ 先

東京消防庁 防災部 防災安全課 電話番号 03－3212－2111 内線4196

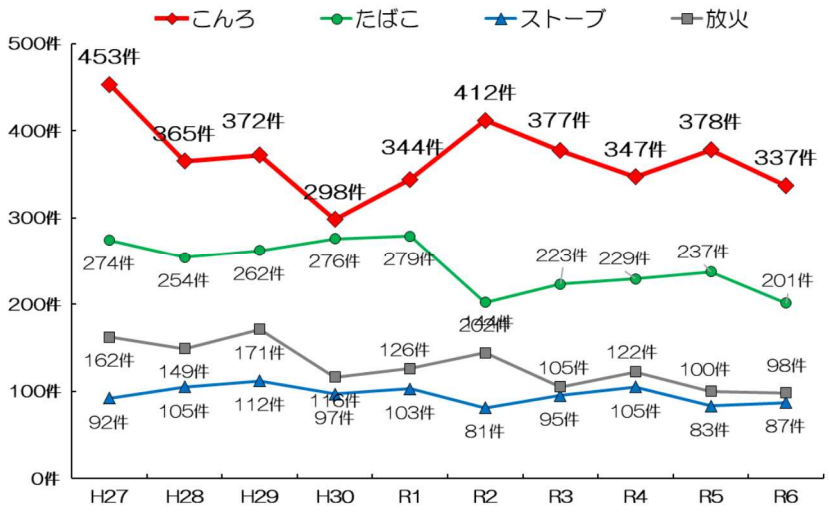
令和8年1月発行

STOP！こんろ火災

STOP！住宅火災シリーズ④ 火災から大切な命を守ろう

住宅火災の出火原因で最も多いこんろ火災

■ 毎年、住宅火災の出火原因の中で一番多いものはガスこんろや電気こんろ等の「こんろ」です。



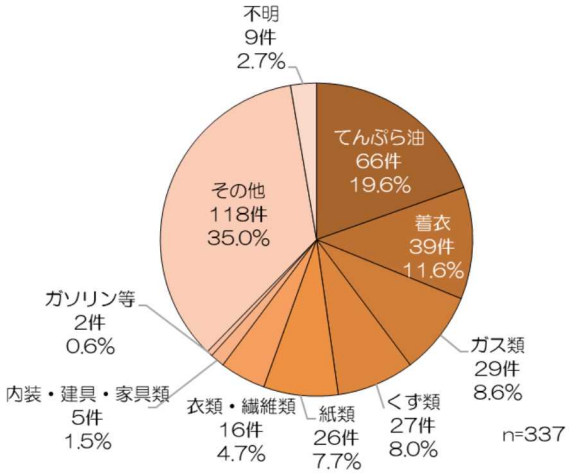
出火原因別の住宅火災件数の推移（平成27年～令和6年）

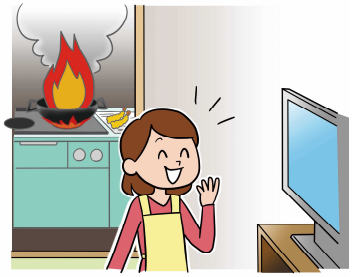
東京消防庁

調理中に離れない

■ 令和6年中、こんろ火災は337件発生し、「てんぷら油」に着火して火災に至った件数が最も多くなっています。

■ 身に付けている衣服に着火した「着衣」、エアゾール缶などの「ガス類」、油かすやごみくずの「くず類」、、の件数も多くなっています。



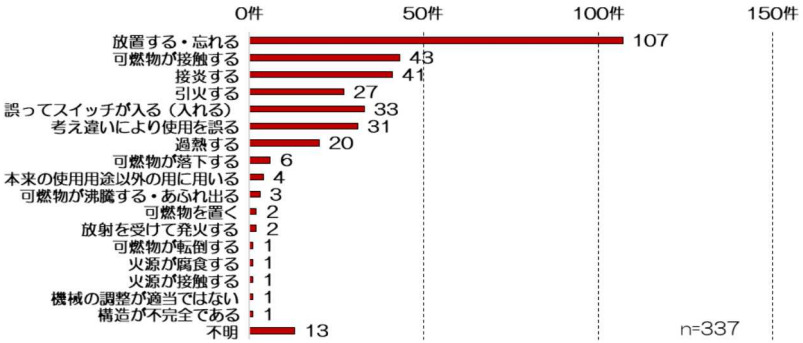


※「天ぷら油」とは、調理に使用する動植物油をいいます。

着火物別のこんろ火災件数
（令和6年　住宅火災）

■ 火をつけたまま放置し忘れること、そしてくず類などの可燃物がこんろの火と接触することで火災が発生していることがわかります。

★調理中に**こんろから離れず**、離れる場合には**こんろの火を必ず消す**ことが火災を発生させないポイントです。



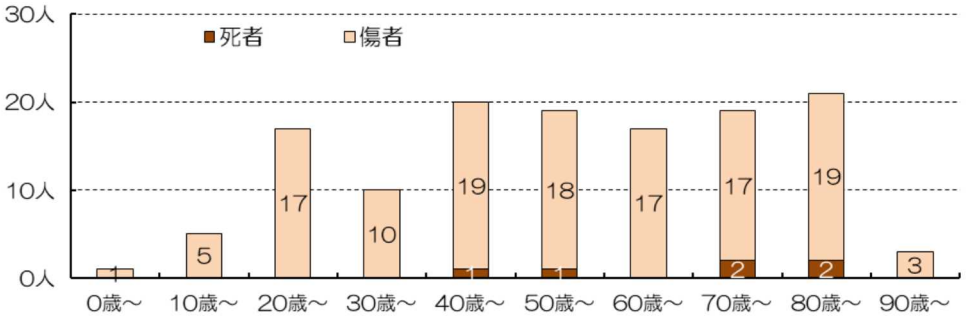
出火経過別のこんろ火災件数（令和6年　住宅火災）

使用放置による火災事例

調理中の鍋が空焚きになったことで火災となった事例

死傷者の発生状況

■ 令和6年中の死者6人中4人は65歳以上の高齢者となっています。



年齢別のこんろ火災による死傷者数（令和6年　住宅火災）

住宅用火災警報器の設置で被害軽減

全ての居室・台所・階段に住宅用火災警報器の設置が必要です

奏功事例

共同住宅の居住者（男性・40歳代）が、鍋を火にかけたまま就寝し、鍋が過熱され続け空焚き状態になり、発生した煙を住宅用火災警報器が感知した。隣に住んでいる住人が、住宅用火災警報器の鳴動音とベランダから煙が出ているのを見つけ、自身の携帯電話で119番通報し、火災を未然に防いだ。

持っていますか？マイ消火器

～ご自宅に消火器を備えましょう～

消火器による初期消火は、火災の被害軽減や抑制に効果的です。一般住宅向けの小型で軽量な住宅用消火器や、片手でも使用できるエアゾール式消火具もあります。